

平成 30 年度宇部市公共交通協議会第 2 回会議録

日 時 : 平成 30 年 (2018 年) 6 月 27 日 (水) 10:00~11:40

場 所 : 男女共同参画センター・フォーユー 2 階 第 1・2 講習室

出席者 : 18 名 (欠席者 2 名)

榑原会長、木下副会長、鈴木委員、福本委員、綿部委員、辻野委員、河内委員、真辺委員 (代理出席)、秋本委員、吉川委員、藤岡委員、徳光委員、辻岡委員、久保委員 (代理出席)、吉原委員、木原委員、山根委員、安平委員

事務局 : 4 名

コンパクトシティ・共生型包括ケア推進グループ

中村グループリーダー、大木サブリーダー、中祖チーフ、伊藤主任

次 第 : 1 会長あいさつ

2 議事

(1) 宇部市地域公共交通再編実施計画の変更について

(2) 宇部市生活交通バスの変更について

(3) 厚南校区コミュニティタクシーの変更について

(4) 原校区コミュニティタクシーの変更について

3 その他

1 会長あいさつ

2 議事

(1) 宇部市地域公共交通再編実施計画の変更について 【承認】

事務局から、宇部市地域公共交通再編実施計画の変更についての説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

【会長】

土日祝の減便について、サンデン交通から補足説明があればお願いします。

【委員】

サンデン交通では、現在、1 日 1,900 便運行しており、運転手が 300 人必要ですが、270 人で運用しており、30 人の不足が生じています。この不足分を時間外労働で補い、何とか運行しているところです。法的な観点からも早急な是正が必要ですので、減便による影響の大きい平日についてはこれまで通りとして、土日祝を減便するものです。

【委員】

「あすとぴあ」へのルート変更はいつからですか。

【事務局】

平成 30 年 10 月 1 日からです。

【委員】

サンデン交通が土日祝減便されることによって、20分ごとになっている等間隔運行の西部主要幹線におけるサービスレベルは変わるのででしょうか。

【事務局】

土日祝の等間隔運行は難しくなりますが、利便性が低下することのないように極力間隔が開かないようにダイヤを組んでいきたいと考えています。

【委員】

計画の変更案にそのあたりの追記が必要ではないのでしょうか。

【事務局】

中国運輸局に確認の上、対応します。

【委員】

この度の再編実施計画の変更については、平成29年度の認定申請時に、平成30年度においても今回対応できない路線等について追加変更があるということで聞いており、予定どおりのものであると認識しています。サンデン交通の土日祝減便、「あすとびあ」のルート変更など新たな変更もありますが、その理由からやむを得ないものと思います。引き続き利用促進に励み、利用者を増やしていただきたいと思います。

【委員】

「あすとびあ」へのルート変更について、地元の自治会や教育機関と連携して利用促進をしていただきたいのですが、もし案があれば教えてください。

【事務局】

市広報に併せて、チラシを配布することや、市で産業団地を所掌する部署にもPRを働きかけ、周知していききたいと考えています。

【会長】

「あすとびあ」は宇部市交通局の近くにあり、車両や運転手の運用の関係で、当然宇部市交通局に向かう便は多いのですが、これらを積極的に「あすとびあ」経由とすることは、交通事業者の苦しい状況の中では、前向きなサービスレベルの改善と言えますので、積極的な広報活動をお願いしたいと思います。

【委員】

「あすとびあ」へのルートの変更は、量的な需要予測や見通しがあって実施されているのでしょうか。

【事務局】

昨年、宇部高専の生徒たちが地域の課題に取り組む中で、バスの利用促進をテーマに取り上げられ、市と交通局も協力をしました。

その過程で、生徒の通学における利用見込みを研究され、「あすとびあ」を経由させると新たに10人程度が通学で利用されるという結果が出ました。

宇部高専のみでこれだけのニーズがありますので、一定の利用増は見込めると思います。

【会長】

公共交通の需要推計はかなり難しいと思います。道路であれば人口を用いて推計すると思いますが、公共交通の場合、住民の絶対数のうち利用する人が少ないので、1人が「使う」「使わない」で大きなブレが生じることから、統計的な予測は難しいと思われます。

【会長】

宇部新川駅バス停の再編ですが、例えば船木鉄道で1つの乗り場を使用していたものを、方面別で整理するというのでしょうか。

【事務局】

現在、船木鉄道の乗り場は宇部駅方面、小野田方面ともに5番乗り場を使用していますが、方面別に5番乗り場を宇部駅方面、6番乗り場を小野田方面にします。

(2) 宇部市生活交通バスの変更について 【承認】

事務局から、平成30年10月1日からの生活交通バスの変更について説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

【委員】

デマンド運行の運賃について確認ですが、昨年同地区で廃止となったデマンドタクシーのものと同額ということではよかったでしょうか。

【事務局】

同額で設定しています。

【委員】

路線定期運行は区間制運賃なので、デマンド運行と運賃体系が異なることになります。

区間廃止等の対象となる嘉川地区は山口市ですが、山口市との協議はどのようになっていますか。

【事務局】

運賃につきましては、混乱することのないよう地域によく周知していきたいと考えています。

山口市との協議ですが、近々、山口市地域公共交通会議において説明をする予定となっております。そこで承認をいただきたいと考えています。

【委員（代理出席）】

変更後のデマンド運行を含めた生活交通バスの運行は、どちらの事業者が実施されるのでしょうか。

【事務局】

車両や運転手を効率的に運用するため、一体的に宇部市交通局に委託する予定です。

【委員（代理出席）】

デマンド運行ではエリア別に曜日で分けて運行されますが、自治会の組み合わせを見ると、位置がかなり離れている地区もあり、少しいびつな経路で運行するようにも思えますが、1時間という短い時間で回るのは可能なのでしょうか。

【事務局】

エリア分けにつきましては、地域の状況に精通している小野市民センターの意見を参考に一筆書きで嘉川駅まで時間内に上手く回れるように設定しています。

【会長】

宇部市交通局がデマンド運行をするのは、今回が初めてだと思います。今後のことを考えると、宇部市交通局がこの新たな試みをすることは、大きな第一歩であり、意味のあることだと思います。

【委員】

デマンド運行の準備をする中で、区域運行と協議運賃についての条例改正の議案を6月議会で上程しています。

【会長】

小野校区への説明はしていますか？

【事務局】

3月に小野校区の部落長会議で説明をしました。新山口駅に直接乗り入れなくなることに、ご意見をいただきましたが、宇部市営バスの嘉川駅前停留所を新たに経由するなど乗継に配慮することで、ご理解をいただいたものと考えています。

【会長】

ダイヤは宇部市営バスやJR山陽本線への乗り継ぎを意識したものになっているのでしょうか。

【事務局】

全てではありませんが、概ね接続が可能なものになっていると考えています。

(3) 厚南校区コミュニティタクシーの変更について 【承認】

事務局から、平成30年10月1日からの厚南校区コミュニティタクシーの変更について説明を行い、承認された。(質問、意見なし)

(4) 原校区コミュニティタクシーの変更について 【承認】

事務局から、平成30年10月1日からの原校区コミュニティタクシーの変更について説明を行い、承認された。(質問、意見なし)

3 その他

【委員】

宇部市高齢者バス優待乗車証や通学フリー定期は、サンデン交通の路線では使うことができません。等間隔運行に向けてダイヤを調整していますが、これらの対象となっている方にとっては必ずしも等間隔運行とはなっていないと思われます。

【会長】

これについては問題意識を持っています。今後、宇部市交通創造コンソーシアムなどで検討の余地があると思います。